

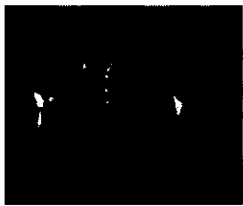
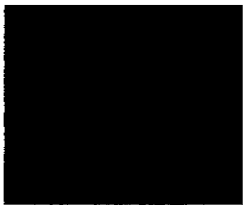
昭和初期——

仙境のナイチンゲールと呼ばれた 一人の新米女医の物語。

山形県大井沢村(現西川町大井沢)は当時、日本のチベットと揶揄される僻地であった。その地に実在した女医・志田周子の生涯を完全映画化。無医村だった故郷で、ただ一人の医者として村人の命を守り、暮らしを支え続けた「いしゃ先生」の実話をもとにしたエンターテインメント作品である。女医・周子を演じたのは映画『Mayu-ココロの星-』から8年ぶりの主演、演技派として成長を続ける平山あや。共演には榎本孝明や長谷川初範。演劇界では数々の賞を受賞している池田有希子。また山形県出身で大人から子供まで人気絶大のテツ&トモなど豪華キャストが作品を飾っている。無医村問題は今も日本のどこかで続いている——

昭和10年、出羽三山の主峰・月山の麓を、急ぎ歩く女性がいた。志田周子(ちかこ)、26歳。故郷の父から「ハナシタイコトアリ スグカエレ」という電報を受け取った周子は、取るものもとらず帰郷したのだ。山形の農村出身の彼女は、努力して東京女子医専(現・東京女子医大)に入学し、医師になったばかりだった。

——風が鳴く峠のてっぺんに立つ、周子。眼下に懐かしい景色が広がった。8年ぶりの美しい故郷だった。久しぶりの実家。幼い弟たちは周子に甘え、母・せいが手料理でもてなす。温かい出迎えを周子は喜ぶが、父・莊次郎の様子がおかしい。大井沢村の村長だった莊次郎は、周子の了承も得ぬまま周子名義で診療所建設の予算を通し、すでに建設が始まっていたのだ。「頼む、周子。3年だけお前の人生を俺にくれ。その間に必ず代わりの医者を見つけるから」父に頭を下げられた周子は、怒ることはできなかった。無医村のこの村に医者を置きたいという父の願いは、誰よりも理解していたから。まだまだ未熟な自分が一人で診療所の医師などつとまるのか……不安を抱えつつ、周子は3年間だけ頑張ってみようと心に決める。東京にいる想い人の存在を胸に秘めながら。——自身に降りかかる数々の試練に耐え、過酷な運命にも負けず、昭和37年にこの世を去るまで、たったひとりで村人の命を守った「いしゃ先生」の愛と勇気の物語。



©2015「いしゃ先生」製作委員会

平山あや 榎本孝明
池田有希子 星野隼士 上野優華 諒太郎 岡雅史 佐久間としひこ
白崎映美(友情出演) 茅渟andモ(特別出演) / 長谷川初範
原作・脚本:あべ美由 監督:水江二朗 撮影:早坂伸(JSC) 照明:藤田貴路 録音:戸原
美術:遠藤剛 音楽:佐藤和彦 音響効果:勝俣まさとし 編集:和田剛 助監督:名倉良樹
制作担当:大川節紀 キャスティング:平野貴之 アシスタントプロデューサー:西澤明
プロデューサー:上野城介 岡雅史 制作:宣伝:配給プロダクション:山形県
特別協賛:日新製薬株式会社 特別協力:全国医師会連合会
製作協力:山形県西川町 大井沢 尾花沢市 白鷹町 鶴岡市 浜井市 山形
企画:志田周子の生涯を顕彰にむかせる会

<http://ishasensei.com>

映画『いしゃ先生』無料上映会 参加申込書

代表者名	代表者含めて 名が参加	
ご連絡先 住所、電話 番号など	<input checked="" type="checkbox"/> 託児 <input type="checkbox"/> 利用を希望する	
<input type="checkbox"/> 上映会の趣旨に賛同して宣伝・ 整理券の配布に協力したい	ご担当者名 (ご連絡先など)	

※参加をご希望される方は必要事項にご記入の上、FAX028-627-0648(栃木県保険医協会事務局)までご連絡ください。なお、託児の利用をご希望される方には別途利用申込書をお送り致します。入場券はございませんので、当日会場にお越しください。